

渋谷区が、タレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入

職員の個性や能力に応じた人材育成の実現をサポート

株式会社カオナビ（本社：東京都港区、代表取締役社長 Co-CEO：佐藤 寛之、以下「当社」）は、渋谷区（区長：長谷部 健）がタレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入し、運用を開始したことをお知らせします。



■導入の背景

「ちがいを ちからに 変える街。」を基本構想に掲げる渋谷区は、同性パートナーシップ制度を盛り込んだ条例を制定するなど、多様性を尊重する自治体として広く知られています。また、AI 等の最新技術を活用し、早期から DX を推進してきた自治体としても有名であり、テレワーク環境の整備やペーパーレス化、さらには、スマホアプリを活用した各種証明書の請求や税金・保険料納付の取り扱いなど、さまざまな行政 DX を推進しています。

こうした行政 DX の一環として、渋谷区は 2019 年策定の「人財育成基本方針」に基づいた人事分野における DX にも着手しています。その人事 DX の目的は、職員一人ひとりが能力を磨き、個性を発揮できる人材育成の推進です。

この目的の実現に向けて、職員の個性を可視化する人材情報のデータベース化、人事評価や配置検討などの人事業務の効率化、職員のモチベーション向上、これらの実現を要件としてシステムを選定しました。

その結果、メンバーの個性・才能を発掘し、戦略人事を加速させるタレントマネジメントシステム「カオナビ」を導入いただくこととなりました。

引き続き当社では、官公庁や自治体での DX 推進に積極的に貢献してまいります。

詳細は、官公庁・自治体向けプラン「カオナビ Government Cloud（ガバメントクラウド）」特設ページよりお問い合わせください。

<https://www.kaonavi.jp/government/>

なお、「カオナビ」は、「政府情報システムのためのセキュリティ評価制度（ISMAP）」クラウドサービスリストに登録されています。

■株式会社カオナビについて

株式会社カオナビは、社員の個性・才能を発掘し、戦略人事を加速させるタレントマネジメントシステム「カオナビ」を提供しています。企業の人材情報をクラウド上で一元管理し、社員の顔や名前、経験、評価、スキル、才能などの人材情報を可視化することで、最適な人材配置や抜擢といった戦略的なタレントマネジメントの実現を支援しております。現在では約 2,500 社^{※1}を超える企業・団体にご利用いただき、7 年連続国内 No.1 シェア^{※2}を獲得しています。

タレントマネジメントシステムのリーディングカンパニーとして、「“はたらく”にテクノロジーを実装し、個の力から社会の仕様を変える」というパーパスの下、テクノロジーによって一人ひとりの個性や才能を理解することで、個人のキャリア形成や働き方が多様化される社会の実現を目指してまいります。

※1 2022 年 3 月末時点

※2 出典 ITR「ITR Market View：人材管理市場 2022」人材管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2021 年度予測）、SaaS 型人材管理市場：ベンダー別売上金額シェア（2015～2021 年度予測）

所在地：東京都港区虎ノ門 1-3-1 東京虎ノ門グローバルスクエア 15F・16F

設立：2008 年 5 月 27 日

代表者：代表取締役社長 Co-CEO 佐藤 寛之
代表取締役 Co-CEO 柳橋 仁機

事業内容：タレントマネジメントシステム「カオナビ」の開発・販売・サポート

会社 HP：<https://corp.kaonavi.jp/>

<本プレスリリースに関しまして>

- ・本リリースに記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。
- ・プレスリリースに掲載されている内容、サービス／製品の価格や仕様その他の情報は、発表時点の情報です。予告なく変更する場合があります。

<本件に関するお問い合わせ>

株式会社カオナビ 広報担当

TEL：03-6633-3251 MAIL：pr@kaonavi.jp